

参加型福祉研究センター主催 2015 年度第 1 回「コミオブ・セッション」

参加型福祉の 30 年は、生活クラブ組合員が自らの近未来を見据え、「お互いさまのたすけあい」をコンセプトに地域の切実なニーズに応える取り組みを広げていこうとする活動から始まりました。

また、生活クラブ生協は「エコロ共済制度」をつくり、組合員どうしのたすけあいを広げてきました。そしていま、新しいたすけあいのしくみを創設する準備を進めています。

いま、日本では超少子化と高齢化が同時進行し、女性の晩婚化による出産年齢の高齢化により、子育てと親の介護を同時にしなければならない世帯―「ダブルケア」の世帯―の増加も大きな課題となっています。

今回のコミ・オブセッションでは、これからの地域社会に必要な柔軟で多様なコミオブケアの重要性と W.Co 創出の必要性、生活クラブや W.Co をはじめ、生活クラブ運動グループが地域の変化

にどう対応していくのか、市町村事業となった「介護予防・日常生活支援総合事業(新総合事業)」についてもどう考えていくのかなどをテーマとしたセッションを行います。

必ずあなたも経験する「ダブルケア」問題を考える

もっと豊かに、コミオブ ケアと地域福祉の実現

参加費無料

● 関心のある方、どなたでもご参加ください。

● 開催日時：2015 年 11 月 9 日(月) 13:30～16:00

● 開催会場：オルタナティブ生活館オルタリアン(新横浜駅下車徒歩 8 分)

<プログラム>

【基調報告】 テーマ「ダブルケア」だれもが「他人事」ではいられない
ゲスト・スピーカー 相馬直子氏 (横浜国立大学大学院准教授)

【トーク・セッション】

テーマ「地域で起きているさまざまな課題を市民はどう向き合い、解決へ向けていくべきか」

スピーカー

★地域の活動から W.Co

★生活クラブ「エコロプラス実施プロジェクト」より(予定)

★生きにくさを抱える若者と共に地域の課題に向き合ってきた

★「ダブルケア問題」に関する問題意識と今後の活動について

コメンテーター 相馬直子氏

コーディネーター 小川泰子参加型福祉研究センター共同代表

会場との意見交換

■ まとめ コーディネーター



NPO 法人 W.Co 協会

W.Co 連合会

参加申込み Fax045-222-8721 e-mail: sanka-fukushi@systemken.org

氏名	所属

<問合せ・連絡先>

参加型福祉研究センター：〒231-0006 横浜市中区南仲通 4-39 石橋ビル 4F 参加型システム研究所内

Tel045-222-8720 Fax045-222-8721 e-mail: sanka-fukushi@systemken.org